

各常任委員会審査・調査報告

総務常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

一般会計補正予算

◆総務部◆

まず、歳入の主なものは、地方交付税のうち、普通交付税の交付額確定により約6億1000万円の増額補正、平成20年度一般会計決算額確定に伴い、繰越金約7億9000万円の増額補正です。

次に、歳出の主なものは、財政調整基金等の積立金で5億3000万円、長期償還元金の繰上償還で約4億8000万円です。

問 長期償還元金の繰上償還による利子軽減額と繰上償還に係る金融機関等の内訳は

答 利子軽減額は、約6800万円で、金融機関等は、民間が18件、福島県が2件の合計20件です。

◆市長公室◆

まず、歳入では、国の経済危機対策の中において、追加公共事業に係る地方負担の軽

減を図り、地域における公共投資を円滑に実施できるよう、各地方公共団体の負担額に応じて算定し交付される地域活性化・公共投資臨時交付金で約3億6000万円、中心市街地活性化基本計画を受け、具体的な空き店舗対策として、福島県と連携を図りながら中心市街地活性化を推進する活力ある商店街支援事業補助金で180万円です。

次に、歳出の主なものは、債務負担行為等の繰上償還で約3億2000万円、中心市街地活性化空き店舗賃借料補助金で360万円です。

▼付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

白河中央スマートインターチェンジ

白河中央スマートインターチェンジは、8月8日に開通しました。9月定例会の委員会において、9月9日現在の利用状況が示されましたので、その内容を報告します。

目標通過台数：1日平均1600台
実績：1日平均1685台
なお、利用状況の詳細は、下記の表のとおりです。

白河中央スマートICの利用状況について 平成21年9月9日現在

◇利用台数

月日	曜日	入口	出口	計	備考
8月8日	(出)	637	670	1,307	12:00開通
8月9日	(日)	948	1,063	2,011	
8月10日	(月)	691	768	1,459	
8月11日	(火)	822	850	1,672	
8月12日	(水)	899	888	1,787	
8月13日	(木)	742	1,070	1,812	
8月14日	(金)	1,060	1,037	2,097	
8月15日	(土)	1,108	858	1,966	
8月16日	(日)	1,007	827	1,834	
8月17日	(月)	799	857	1,656	
8月18日	(火)	776	803	1,579	
8月19日	(水)	793	789	1,582	
8月20日	(木)	828	804	1,632	
8月21日	(金)	827	838	1,665	
8月22日	(土)	1,039	935	1,974	
8月23日	(日)	906	975	1,881	
8月24日	(月)	716	769	1,485	
8月25日	(火)	701	780	1,481	
8月26日	(水)	758	792	1,550	
8月27日	(木)	784	836	1,620	
8月28日	(金)	806	890	1,696	
8月29日	(土)	901	870	1,771	
8月30日	(日)	856	869	1,725	
8月31日	(月)	578	687	1,265	
9月1日	(火)	610	720	1,330	
9月2日	(水)	675	758	1,433	
9月3日	(木)	754	793	1,547	
9月4日	(金)	819	870	1,689	
9月5日	(土)	944	893	1,837	
9月6日	(日)	866	896	1,762	
9月7日	(月)	683	805	1,488	
9月8日	(火)	744	791	1,535	
9月9日	(水)	756	867	1,623	
合計		26,833	27,918	54,751	
1日平均		826	859	1,685	

◇救急車両の利用状況

月	件数
8月	8件
9月	13件
合計	21件

※白河地方広域市町村圏消防本部より聞き取り



白河中央スマートインターチェンジ



JR白河駅内「えきかふえ」

市民産業常任委員会

市民産業常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

◆白河市国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令の一部改正に伴い、平成21年10月1日から平成23年3月31日までの間の出産に係る出産育児一時金支給額を引き上げるため、所要の改正をするものです。

なお、出産育児一時金は、現行38万円から42万円に増額されます。

白河市国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出補正総額は2億666万円増額となり、歳入歳出予算総額は62億7113万2000円となりました。

款別補正の歳入については、国庫支出金617万8000円、繰入金70万2000円、繰越金1978万円をそれぞれ増額補正するものであり、歳出については、総務費103万3000円、保険給付費184万5000円、介護納付金525万8000円、諸支出金1865万2000円をそれぞれ増額補正し、予備費12万8000円を減額補正するものです。

主な内容は、出産育児一時

金増額、介護従事者処遇改善臨時特例交付金、平成20年度退職者医療療養給付費等交付金精算などです。

白河地方卸売市場特別会計補正予算

歳入歳出補正総額は103万4000円増額となり、歳入歳出予算総額は2562万4000円となりました。

款別補正の歳入については、繰入金103万4000円を増額補正するものであり、歳出については、卸売市場費103万4000円を増額補正するものであります。

主な内容は、卸売市場祭り実行委員会に対する補助金です。

一般会計補正予算

本委員会に係る主な事業は、次のとおりです。

市民部は、交通安全対策事業、集会所整備事業、国民健康保険特別会計繰出金などです。

なお、集会所建設に係る本指針改正対照表により集会所規模の基準や特例措置の説明がありました。次の規模基準に該当する場合は、地元負担は求めないとのことです。

○世帯数50世帯未満

Bタイプ(約22坪)

○世帯数50世帯以上250世帯未満

Aタイプ(約32坪)

○世帯数250世帯以上

Sタイプ(約42坪)

産業部は、職業訓練センター職員給与関係費、地方卸売市場特別会計繰出金、農業振興一般管理費(農山漁村活性化プロジェクト支援事業補助金)、農業用施設維持管理費、農業集落排水事業特別会計繰出金、森林居住環境整備事業などです。

農業振興一般管理費(農山漁村活性化プロジェクト支援事業補助金)は、米粉パン等の製造機械を導入する業者に対する補助金で、森林居住環境整備事業は南湖森林公園に係る工事費です。また、農業用施設維持管理費は、緊急雇用創出事業交付金による農業用施設台帳整備業務委託料です。

★審議の中での主な質疑

問 農山漁村活性化プロジェクト支援事業補助金について

答 東西しらかわ農協において、生産調整の一環として米粉用米の安定生産を行うため、米粉用米の売買契約を結ぶ埼玉県川越市にあるフーズテク

ノ株式会社(米粉パン等の製造機械を導入することに対し補助金を支出するもので、同農協管内の米粉用の水稻生産面積が現在の5ヘクタールから、3年後には40ヘクタールに拡大され、生産調整の達成に大きく寄与するものです。

◆**現地調査**
9月11日(金)に委員会で審議された森林居住環境整備事業(南湖森林公園)の現地調査を行いました。

○事業期間
平成18年度～平成22年度(5ヶ年予定)

○総事業費
2億7410万円

○地区面積
20・4ヘクタール

○概要
南湖に隣接する市有地を主体とした区域で、市街地に存在する里山として、南湖の周辺環境を保全する機能を果たしてききましたが、間伐や下刈りなどの適切な維持管理が行われず、不良木や松食い虫などにより森林環境が悪化したことから、「人が集まりまた来たくなる楽しい里山」を基本方針とし、平成18年度事業着手時から市民参加による「南湖森林公園づくり市民懇談会」を設置し意見を取り入れながら、里山を再生することを目的に整備を進めています。事業完成後は、森林学習の提供、森林林業者の育成、都市と山村の交流機会の創出などを目指しています。

問 森林居住環境整備事業費について

答 事業費の総額は2億7410万円で、平成22年度事業の一部を1年前倒し、早期の完成を目指すものです。

問 森林居住環境整備事業完成後の管理運営について

答 森林学習等の利用拡大や里山づくりの進め方については、事業計画の段階から参画している南湖森林市民懇談会やワークショップグループと協議・検討を進めるものです。

▼付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。



南湖森林公園現地調査

教育福祉常任委員会

教育福祉常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

◆白河市運動公園条例の一部を改正する条例

問 スポーツ施設における指定管理者制度導入の効果について

答 これまで、市民体育館や武道館で導入しましたが、指定管理者である利用者協議会等が、主体的にスポーツ事業を実施しているほか、自分たちの施設は自分たちで整備するという意識で、スポーツ用具の整備や施設の軽微な修繕を行っています。また、実際に利用する方々が管理する点では、行政の管理に比べ、さまざまな面で柔軟な対応ができます。

◆白河市総合運動公園及び白河市しらさかの森スポーツ公園の指定管理者の指定について

問 設立の経緯や管理体制について

答 総合運動公園やしらさかの森スポーツ公園の管理を指定管理者に移行するにあたり、当初、体育協会や通年利用の団体を考えていましたが、そ

の管理範囲の大きさから、施設を管理するために体育協会の役員等が自主的に設立した団体である利用者協議会に指定管理者の指定をするものです。役員は税理士、医師、体育協会に所属する一部の団体の会長等から成る11名で構成されています。なお、職員の配置は、事務局長含め計3名が常駐する予定です。

介護保険特別会計補正予算

問 基金と今年度予算との関係、介護保険給付について

答 基金残高は、平成20年度末で2億2477万6000円です。第4期計画の3年間で2億円を取り崩す予定で、初年度の21年度に5819万9000円を取り崩し、今回20年度繰越金を積み立てると21年度末の基金残高は2億4499万8000円となる見込みです。第3期計画では、予防システムへの転換が大きく働き、予防給付費等を多く見込みましたが、実績が伸びず、計画に対し約10億円の未執行となりました。その反面、訪問介護等は計画に対し約5億5000万円実績が伸びま

したが、その差額を含め約4億8000万円が未執行となり、約8000万円の繰越金が生じたので、基金に積み立て、次期計画の保険料算定の中で考えていきます。

一般会計補正予算

●保健福祉部

問 社会一般管理費の緊急雇用創出基金事業について

答 就労支援員を雇用するもので、主な業務は、履歴書や面接の指導、職業安定所等への同行のほか、住宅手当緊急特別措置事業の受給者面接です。特別な資格というより、指導ができる方を雇用し就労に導き、生活保護に至らないようにしたいと考えます。

問 自殺対策基金事業費について

答 自殺に至る原因の多くは、多重債務等の経済・生活問題や健康問題で、うつ状態が多いことから、月2回の無料法律相談に合わせ、心の相談窓口を設けて精神科医による相談を実施します。また、パンフレットを作成し普及啓発を行うほか、窓口担当職員を対象に研修会を実施します。現

在の経済情勢のもと、自殺に追い込まれる人を救う基金の趣旨に沿った事業展開をしたと考えます。

●教育委員会

問 児童館職員給与関係費の減額について

答 本年4月より、第1児童館及び第2児童館の館長をこども課長が兼務することとなったためです。児童館は、地域の子育ての悩み相談の場として機能していますが、少子化の流れや、保護者の相談が他のNPO法人等、おひさま広場やわかば保育園の子育て支援事業へ移行し、児童館への相談は少ない状態が続いていました。そうした理由から専任の館長を配置せず兼務とし、定期的にも課職員が児童館を訪問することで対応しています。



白河市第三児童館

問 総合運動公園及びしらさかの森スポーツ公園における11月以降の指定管理者移行のための予算補正について

答 歳入では使用料と雑入を合わせた338万円を減額し、歳出では需用費などの管理経費を減額し、新たに施設管理等委託料972万9000円を計上しました。この委託料のうち427万3000円は人件費3名分であり、予算書上は、この人件費が増えたこととなりますが、現在、管理業務に当たっている市職員の人件費については、人事異動も含め未定のため、現行のままとなっています。

▼付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。



しらさかの森スポーツ公園

建設水道常任委員会

建設水道常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

◆市道路線の認定及び廃止について

金勝寺橋五番町川原線、川外1号線、道場門線、明戸2号線、古高山7号線、引目橋2号線、引目橋3号線及び終点を延長した川前1号線の8路線を新たに市道として認定し、五番町川原1号線、影鬼越2号線、あぶくま川金勝寺橋線及び現行の川前1号線の4路線を廃止するものです。

◆決算の認定について

平成20年度白河市公営企業会計の決算について、地方公営企業法第30条第4項の規定により、議会の認定に付するものです。

問 平成20年度白河市水道事業会計に関し、料金徴収率が対前年度比で0・12%上がった要因について

答 料金徴収は民間に委託していますが、きめ細やかに戸別訪問を行い、各家庭の状況に合わせた徴収活動をして、実績を上げています。

問 水道料金のコンビニエンスストアでの振込みについて

答 一般会計と連携を図って検討していきます。

問 平成20年度白河市工業用水道事業の今後について

答 工業用水の需要は厳しい状況であり、今後も引き続き、県に支援等の要望を行っていきます。



工業用水 (工業の森・新白河)

公共、下水道事業 特別会計補正予算

歳入歳出補正総額4086万6000円を増額し、歳入歳出総額24億1467万5000円とするものです。

歳出補正の主なものは、白坂地区の勝多石幹線の管路工事510mの工事請負費5000万円、西郷堀目線登り町工区の舗装工事に合わせて実施する管路工事93mの工事請負費465万円及び金勝寺工区の測量設計等委託料810万円などです。

農業集落排水事業 特別会計補正予算

歳入歳出補正総額1555万2000円を増額し、歳入歳出総額12億7803万円とするものです。

歳出補正の主なものは、白河北部地区において、県からの事業費の追加配分に伴って実施する舗装復旧工事の工事請負費840万円と、水道管移設補償費160万円です。

水道事業会計補正予算

今回の補正予算の主なものは、議会の議決を経なければ流用することのできない経費の補正で、予算に定めた職員給与費を1億3350万9000円に改めるものです。

業務の予定量の補正では、主な建設事業の概要の改良費を2億9999万7000円

に改めるものです。

一般会計補正予算

土木費において、歳出補正総額3億6825万9000円を増額し、歳出総額を29億5337万4000円とするものです。

主なものは、地域活力基盤創造交付金事業（道路新設改良費・街路事業費）、公営住宅ストック総合改善事業などです。

★審議の中での主な質疑

問 道路橋りょう費の地域活力基盤創造交付金事業に関し、松ヶ苗1号線など5路線が市単独の起債事業等から国庫補助事業に格上げになった経緯について

答 市単独の起債を使って道路を整備してきましたが、市の厳しい財政状況においては、市にとって有利な予算で執行したほうがよいので、事務レベルの努力に加えて、市長自ら国土交通省や県などへ出向いて要望を行い、本市の実情や必要性、緊急性等について理解をいただき、採択に至りました。

問 公園管理費の城山公園駐

車場管理業務委託料に関し、緊急雇用創出事業交付金を利用した委託期間の終了後に

答 社会実験的に3カ月間委託し、その結果を検証します。さらに、小峰城を含めた、城山公園全体の利活用に係る検討会で、総合的に議論していきます。

▼付託された議案は、いずれも原案のとおり可決、または認定しました。



小峰城・城山公園